

CSRレポートを拝読させていただきますと、グローバル展開だけでなく、ロボットを活用した技術等新しい分野へも積極的に突き進んでいく躍動感と環境経営や地域との関わりに代表される社会貢献への熱意を感じます。昨年度までのCSRレポートも拝読させていただきましたが、共通するキーワードは「人」ではないでしょうか。優秀な人材を惹きつけ、顧客・取引先・株主の期待に応えられるよう育成し、地域社会と一緒に会社が成長していくという長年かけて作り上げた仕組みがあるからこそ、躍動感と社会貢献への熱意を兼ね備えた社風が生まれていると思います。

先日、山口工場を見学させていただく機会に恵まれましたが、実際に双腕型ロボットがラインに入って活用されている様子や、従業員の皆様が熱心に動かす手を止めて帽子を脱ぎ大きな声で挨拶をしてくださった様子を拝見して、THK殿の理念を実際に拝見できたようで大変感銘を受けました。

さて、本年度のCSRレポートでは、寺町社長による「THK製品を通じた社会貢献」についてのトップメッセージに続き、特集、マネジメント体制、社会との関わり、環境との調和が簡潔かつ丁寧にまとめられています。今回の特集では、医療・福祉機器でのTHK製品活用例と自社の実験用風車を活用した発電、台湾での水力発電の共同研究が紹介されています。医療・福祉は我が国だけでなく、国際社会における最重要課題の一つです。工作機械やFA機器も間接的に医療・福祉に貢献していることは言うまでもありませんが、医療・福祉機器開発元やお客様からの声を聞き、迅速にカスタマイズに応じて課題を解決することは、実際の社会貢献だけでなく、製品に関わ

る従業員のモチベーション向上にも貢献すると思われます。医療・福祉での応用では、SEED Solutionsの無線制御、軽量化、取り付けネジ等の部品の強度、カスタマイズへの迅速な対応等、工作機械やFA機器とは違った視点での評価があり、要望があったことがわかります。個々の製品へのカスタマイズを通じて、開拓する分野に共通する要望を抽出し、幅広いアプリケーションに展開できる新製品の開発を進めていくことを期待しております。

地球温暖化防止のために、自社で開発した風力発電も着実に発電効率が上がっています。実際に仙台工場での照明に活用するという事は、成果の活用だけでなく、成果を体感するという側面もあり、全社を挙げた省エネルギー・地球温暖化防止の取り組みにもつながるものがあるのではないのでしょうか。山口工場での取り組みでも紹介されていますように、新製品のアイデアや改善提案等を出しやすい環境、提案を受け入れて実施する行動力、そして、実施した結果を社内で評価し、また、CSRレポート等で共有する精神こそ、新しい分野開拓への原動力であると思います。

ますますグローバル化が進み、競争が激しくなりますと、顧客からの要望に真摯かつ柔軟に応えるだけでなく、世界的なトレンドを見極めたうえで、成長分野の発展をさらに加速するような誰にも真似できない技術を提案し続けていくことが求められます。顧客からの要望に向き合い、THK製品やサービスの特徴と強みをさらに明確にすることが必要となると考えます。他社との差別化を進めた世界最高品質の製品を展開するとともに、THK殿が誇る社会貢献の社風もグローバル展開されることを期待いたします。



東京大学 大学院工学系研究科 研究科長・工学部長 機械工学専攻 教授・工学博士 光石 衛様

略歴: 1979年東京大学理学部物理学科卒業、1981年東京大学工学部船用機械工学科卒業、1986年東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了、工学博士。同年東京大学工学部産業機械工学科講師（内1987～1988年ドイツ・フランクフルター研究所研究員）、1989年同助教授、1999年東京大学大学院工学系研究科教授（産業機械工学専攻、2009年より専攻統合により機械工学専攻、2006年よりバイオエンジニアリング専攻協力教員）。2013年より東京大学教育研究評議員。2014年より東京大学大学院工学系研究科研究科長、工学部長、現在に至る。

研究分野: バイオメディカルロボティクス（特に、コンピュータ統合手術支援システム）、生産工学（特に、バイオマニュファクチャリング、センサ統合型知能化生産システム）等の研究に従事。

学会活動、受賞等: CIRP（生産工学に関する国際アカデミー）フェロー、CIRP評議員、CIRP工作機械部門長。日本機械学会フェロー、日本機械学会RC266次世代産業を牽引する工作機械に関する研究分科会主査。日本ロボット学会フェロー。日本コンピュータ外科学会理事。日本機械学会生産加工・工作機械部門功績賞、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門学術業績賞等を受賞。

編集後記

第8号のCSRレポートを無事発行することができました。本年度は今後日本が迎える高齢化社会に対して、THK製品が医療・福祉分野でどのように使用されているかを検証しました。THKでは多種の製品を取り揃えていますが、LMガイド・SEED Solutions・シリジユニットを使用されているお客様に取材を行い、その声を紹介しています。またもう1つの特集では、THKの省エネへの取り組みとして太陽光発電と風力発電の電力利用について掲載しました。

また、経年で紹介しているガバナンス体制、人財活用や地域社会に積極的に関わる姿勢、地球温暖化防止に向けた取り組みをTHKとご関係のある方々の声を最大限取り入れてお伝えしました。

今後もCSR活動を全社一丸となり積極的に推進し、その結果を皆様にお伝えしていく所存です。つきましては、今回のレポートをお読みになった皆様方がどのような感想をお持ちになったのかご意見を賜りたく存じます。皆様方の貴重なご意見は今後のCSR活動やレポート作成の参考にさせていただきます。ご高覧のうえ、忌憚のないご意見・ご感想を同封のアンケート用紙にてお寄せいただければ幸いです。

CSRプロジェクト事務局
(次回発行予定2015年9月)